

宮代町郷土資料館だより

# えんがわ

第59号

## 特別展 古墳時代の拠点集落～道仏遺跡～

宮代町郷土資料館では、平成29年10月28日(土)から12月24日(日)まで、特別展「古墳時代の拠点集落～道仏遺跡～」を開催しています。この特別展は平成9年度から平成26年度にかけて計5回に渡り実施された道仏遺跡の発掘調査の成果を紹介しています。ここでは、展示のテーマとなっている道仏遺跡の概要と、その魅力について紹介します。

### 1) 道仏遺跡の概要

道仏遺跡は、宮代町の中央やや南東側の古利根川右岸、大宮台地上に位置しています。道仏遺跡の東側約1kmの位置には、利根川の本流であった古利根川が流れています。

これまでの発掘調査では、遺跡全体と推定している範囲の約半分で調査を行っています。その結果、5世紀後半から6世紀後半にかけての古墳時代後期の住居跡が147軒、住居に付帯するカマド・周溝、土師器焼成坑(土師器を焼いた穴)などの遺構を検出しました。遺物は土師器(ろくろ、窯を用いず焼成した赤褐色の土器)、須恵器(窯の中で高温で焼成された青灰色で硬質の土器)、韓式系軟質土器(朝鮮半島で日常的に使用されていた、表面に格子状タタキを施し成型・焼成された土器)などをはじめ、漁獵に使用した大型土錘や管状土錘、土玉も出土して

祀に使用する石製模造品やフイゴの羽口、鉄滓といった製鉄関連の遺物も出土しています。



道仏遺跡航空写真(平成26年度)

### 2) 様々な地域から運ばれた土器

今回の特別展では、道仏遺跡から出土した様々な地域の土器を展示しています。登り窯で焼かれた硬質の須恵器は、東海産や畿産など遠隔地から運び込まれたものもあります。この他、群馬からは須恵器だけでなく、口縁部が斜めで、内部が磨かれた内斜口縁杯や、渡来系の人々が使用したとされる韓式系軟質土器も出土しています。埼玉県比企地方で多く出土する比企型杯も少量出土しています。様々な地域の土器が出土するのは、道仏遺跡が利根川を利用した水上交通の要所であったためと推定されます。



東海産須恵器 壺



第103号住居跡



韓式系軟質土器



土師器焼成坑 (第92号土坑)

### 3) 集落と生業について

特別展では、土器以外にも多様な出土遺物や住居跡などの遺構について紹介しています。道仏遺跡では147軒もの古墳時代の住居跡が発掘されました。この集落は5世紀後半に形成されたと推定されます。調査の成果から、5世紀後半に約53軒、6世紀前半に約40軒、6世紀中葉から後半では約53軒の住居跡が確認できます。埼玉県東部地区の中で比べても非常に大きな集落であったことがうかがえます。また、土師器焼成坑が9基検出されている他、剣形品や有孔円盤と呼ばれる石製模造品が多数出土しており、それらの製作時に砥石として利用された可能性もある軽石が確認できること、ファイゴの羽口や鉄滓といった製鉄関連の遺物も出土していることから、単なる居住のためだけではなく、玉造りや土師器製作に関わる職人集団もいた集落であったと推定されます。

この他、漁猟関係の遺物である大型の土錘と管状の土錘、土玉も出土しています。

皆様のご来館をお待ちしています。



石製模造品



大型土錘

開催しました

## 特別展記念講演会「東国の渡来人と宮代」

平成 29 年 11 月 11 日（土）に特別展記念講演会「東国の渡来人と宮代」を開催しました。講演してくださったのは、駒澤大学文学部教授の酒井清治氏です。

講演会では、5 世紀以降、日本列島に東アジアの先進的な技術・文化が朝鮮半島からやってきた渡来人によって伝えられた事、須恵器、韓式系軟質土器、甗、住居のカマドなど伝えられた主な技術・文化を紹介してもらい、道仏遺跡の主體的な時期である 5 世紀後半から 6 世紀後半の東日本の様相について分かりやすく解説していただきました。また、道仏遺跡でも須恵器や韓式系軟質土器など渡来人や西方からもたらされた新たな技術・文化がうかがえる遺物が出土していることから、周辺地域との交流についてもお話しくささいました。特に、砥石として利用していた可能性のある軽石、内斜口縁の土

師器、韓式系軟質土器、群馬産須恵器が出土していること、道仏遺跡の立地が利根川水系にあり上野の豪族が利用する流通路であったと推定されることなどから、利根川上流の群馬との関係が強かったのではないかと指摘されていました。

今後、道仏遺跡を調査・検討していく上で大変参考になるお話でした。



開催しました

## 企画展「文化財案内板でめぐる宮代町」関連歴史ウォーク

平成 29 年 10 月 14 日（土）、企画展「文化財案内板でめぐる宮代町」関連イベントとして、和戸駅周辺をめぐる歴史ウォークを開催しました。今回は、企画展で紹介した 8 つのコースの中から、和戸駅東口コースを展示担当学芸員の案内でめぐりました。

当日は和戸駅東口に集合し、須賀村役場跡である和戸公民館や、旧和戸駅跡、和戸浅間神社、和戸キリスト教会を見学しました。和戸キリスト教会では建物内部を見学させていただき、説明もしていただきました。その後、文殊院跡を通り、古利根川を南下して高野の渡しの案内板がある万願寺橋へ向かいました。ここから、権現台へ向かい東武鉄道鹿沼落堀煉瓦橋台を見学して和戸駅へと戻りました。

小雨が降る時間もありましたが、参加者は講

師の詳細な説明に熱心に耳を傾け、歴史ウォークを満喫されているようでした。

21 日（土）は東武動物公園駅西口コース（蒸気機関車、石橋堰、女躰宮など）を予定していましたが、雨で中止となりました。



# 企画展「おひなさま」

資料館では、毎年お正月休み明けから行う企画展として、「おひなさま」を開催しています。今年度も、平成30年1月6日(日)から3月11日(日)まで開催いたします。

毎年楽しみに来館して下さる方も多く、ご好評をいただいております。また、大切な人形を資料として寄贈して下さる方もあり、收藏品としてのおひなさまも年々増えつつあります。

展示するおひなさまは、これまで資料館に寄贈されたおひなさまの中から、段飾りのおひなさまを中心にいくつか展示します。装束や顔など多少の違いはありますが、いずれも華やかな雰囲気を持ち、その人形が贈られた子どもの幸せを願う想いが込められたものです。

展示室にいくつものおひなさまが並ぶ様子は、大変華やかな雰囲気になります。

## 資料館日誌抄

7月5日 デイサービスジャパンケア杉戸見学(9名)

7月12日・8月26日

春日部青年会議所定例会職員派遣(60名)

7月15日

～10月22日 企画展「文化財案内板でめぐる宮代町」

7月16日 春日部市さくら物語展示見学(6名)

7月22日～8月25日 夏休み体験教室 郷土資料館  
に行こう(146名)

8月5日 かやぶき民家で聞く昔話

8月22日 蓮田市教育委員会展示・施設見学(2名)

8月25日 土器焼き・火おこし体験他

9月21日 デイサービスセンターソラティア見学(20名)

9月23日 移築民家と「アタラシイ」ゲキ14(35名)

9月24日 演奏会「琵琶のしらべ」(30名)

10月14日 企画展関連歴史ウォーク「和戸駅東口コース」開催(7名)

10月18日 姫宮神社遺跡試掘調査

10月24日～ 道仏遺跡発掘調査(継続中)

10月28日 特別展「古墳時代の拠点集落

～12月24日 ～道仏遺跡～」

期間中の休館日は1月9・15・22・29日、2月5・13・19・26日、3月5日となります。

大変寒い時期ではありますが、皆様お誘いあわせのうえお越しください。2月になると、旧加藤家住宅の中にも、おひなさまを展示する予定です。あわせてご覧いただければ幸いです。



10月28日 さとやまマルシェ職員派遣(30名)

10月28日・11月4日

みやしろ市民ガイドクラブ見学(23名)

10月30日～11月24日 姫宮神社遺跡発掘調査

10月31日 道仏上遺跡試掘調査

11月9日 宮代台集会所職員派遣

11月11日 特別展記念講演会「東国の渡来人と宮代」(22名)

11月12日 埼玉県ウォーキング協会見学(250名)

11月28日 西光院遺跡試掘調査

## 資料館寄贈者名簿 (敬称略)

金田秀樹(土器)、冨田孝一(土器)、吉岡勇一郎(古文書、民具)、吉田隆夫(書籍)、渡辺文雄(石碑)  
青木秀雄(民具)

宮代町郷土資料館だより えんがわ 第59号

発行日 平成29年12月1日

発行 宮代町郷土資料館

郵便番号 345-0817

住所 埼玉県南埼玉郡宮代町字西原289番地

電話番号 0480-34-8882